

令和6年度 第3回 藤沢市立八松小学校 学校運営協議会議事録

開催日時 2024年9月5日（木）午前10時～12時

場 所 八松小学校 第2多目的室

出席委員等	植木 菊治（会長／辻堂地区民生委員） 瀧谷 典子（副会長／八松小学校校長） 山本 あや（本校在籍児童保護者） 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議 辻堂地区防災協議会） 若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャルワーカー） 綾部 由美子（明治青少年育成協議会指導員、元本校在籍児童保護者） 小野 登紀子（明治地区民生委員児童委員） 猿渡 智香子（辻堂二葉幼稚園園長） 梶居 亮子（八松子どもクラブ クラブ長） 小林 美幸（明治地区民生委員児童委員協議会主任児童委員） 戸塚 渉（藤沢市生涯学習部 渉外学習総務課 明治公民館長） 中尾 安伸（明治中学校長） 森本 裕（八松小学校教頭） ----- 出席委員：13名（欠席委員：0名）
次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 学校の近況報告 4 学校参観 5 議 題 （1）学校運営等の議題と解決策の話し合い ① 児童の自立につながる見守りのついて ② 地域学校協働活動に係る補助金について （2）2024年度学校評価について 6 その他 今年度運動会の日程 次回以降の会議日程 7 閉 会
協議内容	協議内容 4 （1）学校運営等の課題と解決策の話し合い ① 児童の自立につながる見守りのついて ・会長 児童の自立につながる適切な大人の関わり方、見守り方について、ご意見を伺いたい。 ・委員 一人一人の個性を大切にしながら、子どもたちに関わっている。自分の気持ちを他者に伝えることが苦手な子どもたちには、「○○○なのかな？」と心情を探っている。 ・委員 夏休みは暑さとの戦いだった。ずっと室内にいと子どももいた。職員が足らず、個別の対応をしてあげたいけれど、できない時もあった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 子どもたちとキャンプに参加した際、1日目は人まかせだったけれど、2日目は自分から動くことができた。何事も経験させることが大事だと感じた。 ・委員 困っている子どもを見つけたら、大人を配置。困っている子どもは、見守っていただけるだけで安心する。どうしたいのかわからないときは選択肢を提示。そして、「手伝えることはあるかな？」と心配していることを伝えている。 ・副会長 ストレスを抱えた子どもたちには、個性に応じたていねいな関わりが必要。自分の気持ちに蓋をして発信しない子どももいる。私たちは、子どもを孤立させないことが大切だ。必ず子どもは何かを感じ、思っている。 昔は地域の見守りが手厚かった。今は人との関わりが減り、子どもが本音を言えていないと思う。 学校は先生だけでなく、もっと地域の大人が居てくれたら、子どもが発信しやすくなるではないか。子どもは人と関わることで、自分から発信していく。学校にも多様な人材が必要だ。 ・委員 学校が見守りの人を探すのは大変だと思うので、私たち委員が人を探す必要があるのではないか。 今は高齢の方でも働く人が増えている。無償のボランティアという立場では、人が集まらないのではないか。 ・会長 学校を見守る人を探す役割を担っていただける方が、必要だということですね。 <p>② 地域学校協働活動に係る補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局 令和6年度の補助金として上限41,000円が事業費として計上された。八松小学校では、リソースルームの見守りボランティアや給食登校のサポーターさんへの謝金等に使っていきたい。 → (承認) <p>(2) 2024年度学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局 今年度は調査の母体数を増やすために、保護者向けは全世帯、児童向けは3～6年生全員に実施したい。また、学校運営協議会委員向けのアンケートを実施。昨年度の学校評議委員向けのアンケートに「子どもたちのあいさつや礼儀正しさ」についての項目を追加した。次回の協議会で、ご意見をいただきたい。 ・会長 大変貴重なご意見をいただいた。次回以降も、学校の課題について協議を続けていく。 <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

次回開催予定：2024年11月21日（木）午前10時～
場所：藤沢市立八松小学校 第2多目的室